

(公財) 大学基準協会による 大学評価 (認証評価) 結果報告書

(平成24年度申請)

九州産業大学に対する大学評価(認証評価)結果

平成 23 年度自己点検・評価報告書

平成 23 年度大 学 基 礎 デ ー タ

平成 25年 3 月

九州産業大学

まえがき

九州産業大学は、公益財団法人大学基準協会から、平成 25 (2013) 年 3 月 8 日付文書にて、同協会が定める大学基準に適合しているとの認定を正式に受けました。本学に対する認定期間は、平成 25 (2013) 年 4 月 1 日から平成 32 (2020) 年 3 月末までとなっています。

平成 16 (2004) 年に学校教育法の一部改正に伴い、大学は、国が認証した評価機関による外部評価を受けることが法制化されたことを踏まえ、平成 15 (2003) 年度に認証評価申請に向けた基本計画を策定し、平成 16 (2004) 年度自己点検・評価活動を基盤とした取組体制を組織し、平成 17 (2005) 年度に同協会の相互評価ならびに認証評価申請を行い、適合しているとの認定を受けました。

その後、7年の間に大学を取り巻く環境は、リーマンショックや人口減少の趨勢により、ますます厳しさを増し、その変化への対応に隔靴搔痒の感が広がるなか、中央教育審議会は、平成 20 (2008) 年『学士課程教育の構築に向けて (答申)』において、学士の水準の維持・向上のため、教育の中身の充実を図っていく必要があり、また、教育の質の保証するシステムの再構築および職業人としての基礎力の育成、さらには創造的な人材の育成により学士課程教育の質の維持・向上が強く要請され、平成 24 (2012) 年『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて (答申)』では、社会活力の低下、経済状況の厳しさの拡大、地域間の格差の広がりなどによる予測困難な時代において大学教育の質的転換の重要性がうたわれ、個々の大学があらためて大学改革の必要性を認識するものとなりました。

このような中、本学は、平成 18 (2006) 年 3 月 29 日付文書にて、大学基準協会が定める大学基準に適合しているとの認定を受けており、平成 25 (2013) 年 3 月末に7年間の認定期間が満了することから、第2回目となる大学評価 (認証評価) 申請を平成 24 (2012) 年 4 月に行いました。

本学は、評価結果のとおり「適合」と認定されましたが、これからの改善・改革に向けて恒常的に取り組むべき新たな決意と社会的使命を改めて痛感している次第です。指摘されました「努力課題」および「改善勧告」については、これらを真摯に受け止め、自己点検・評価をはじめとする全学的な組織の下で、短期的あるいは中・長期的な展望で不断に改善・改革に努めるとともに、「長所として特記すべき事項」については、特色を生かしつつさらに充実・発展させていく所存です。

振り返ってみますと、今回も前回と同様に、大学評価申請に向けての業務は、同協会への事前相談を含め、申請準備に従事した担当者の仕事量の膨大さや使命感は想像に難くなく、本学の果敢なる改革・改善を早急に推進する必要があるとの熱き思いが原動力となったからに他なりません。

最後に、本報告書の基盤である「平成 23 年度自己点検・評価報告書」及び「平成 23 年度大学基礎データ集」を編集するにあたっては、副学長を筆頭に、自己点検・評価運営委員会委員各位をはじめ、検討作業部会やファカルティ・ディベロップメント委員会等関係の委員諸氏の尽力に負うところが大きかったことを申し添えます。併せて、自己点検・評価活動への全教職員の不断の取り組みに対し、深甚なる謝意を申し上げる次第です。

本報告書が、本学の建学の理想「産学一如」のもとで、教育力において最も信頼される総合大学となるための確固たる指針として、全教職員に十分に活用されることを切望いたします。

平成 25 年 3 月

九州産業大学
学長 山本 盤男

本報告書の構成について

アカウンタビリティ（説明責任）を果たすため、九州産業大学は、（公財）大学基準協会からの評価結果等を合冊した刊行物の他に、九州産業大学ホームページを通じて、本学の大学改革への取り組みの内容を広く社会に対して公表に努めています。

本報告書の構成については、以下のとおりです。

1. 「九州産業大学に対する大学評価（認証評価）結果」
九州産業大学に対する（公財）大学基準協会からの評価結果です。
「Ⅰ評価結果」、「Ⅱ総評」、「Ⅲ大学に対する提言」で構成されています。
2. 「平成 23 年度自己点検・評価報告書」
序章、本章、終章の 3 部構成となっています。
3. 「平成 23 年度大学基礎データ集」
大学の基礎となる数値的なデータ等を掲載しています。

本報告書は、平成 24 年度に（公財）大学基準協会への大学評価（認証評価）申請を行う際に本学が提出した資料である「平成 23 年度自己点検・評価報告書」及び「平成 23 年度大学基礎データ集」に同協会の「評価結果」から成り、それらを合冊したものであります。

このような理由により、本報告書の頁番号は、冊子ごとに頁を付しているため、全体の通し番号は設けておりません。

なお、大学基礎データ（参考）の（表 18）（表 19）である別冊としての「専任教員の教育・研究業績集」については、本学は「平成 23 年度専任教員の教育・研究業績集」を別途刊行し、資料として提出しております。公表という社会的要請と責務から、一般の方々も含め、本学図書館および本学園の九州造形短期大学図書館において報告書全冊を閲覧できるよう態勢を整えております。

以 上